

千葉県中核地域生活支援センターニュースレター

ちばの地域福祉

「育て、地域福祉の芽」

社会福祉法人 いちいの会
中核地域生活支援センター のだネット
所長 相馬伸男

大震災から1年を迎える今、鈍い復旧・復興の足音を聞きながらも「もう一度、人同士の付き合い方を見直す生活の仕組み作り」の確かな足取りも聞こえてくる。

「あそこにあの人が住んでいる」と一人称であの人のことを思えること、「あの人なら、今頃、あそこにいるよ」と普段どのような生活をしているのかわかっていること、大震災は「顔の見える関係の大切さ」を教えてくれたように思う。

一方、飽食日本と言われるこの時代で「餓死」をする人がいる。

様々な角度からの意見があるが、人との関係を持たずに暮らすことの出来る時代、今、私達はとても危うい時代に生きているのではないか。

障がい福祉や相談支援等、私達が日々行っている仕事の大半は、見知らぬ人が見知った人の関係になる中で達成できることの積み重ね。

見知った以上は、知らぬ存ぜぬは通用しないだろう。私達が出来るとはたかが知れているが、覚悟（思い切りの誠意のなせる業）が必要であり、何かことあればその先の道筋をつけるための工夫をする仕事である。

その意味では、これまでの中核センター事業は「私達が繋ぎ手の必要な時代に生きていること、隙間を埋めてくれる人の手の必要な時代に生きていること、人関係の希薄さと脆弱な社会への加速を食い止める小さな力であること」を確かな答えとして示しているように思う。

簡単ではない。しかし、育て、地域福祉の芽。

ちば・元気印！～こんなひと、見つけた～

東葛菜の花「高次脳機能障害者と家族の会」

世話人 内木 千鶴子 氏 (菜の花チア：責任者)

<東葛菜の花との出逢い>

息子が受傷（2005年）して2年目に千葉リハビリテーションセンター更生園に入所しました。それまで息子は東京や神奈川の病院に入院していたので、親として医療的なバックアップに忙しく、他のことを考える余裕がありませんでした。更生園に入所後しばらくして、東葛地区に家族会が出来たことを知りました。その時はまだ息子がこの先どのような生活ができるのか全くわからず、まずは家族会に入って、そこから情報を得ようと思いました。家族会に入って2年目に、世話人になってほしいと言われました。私は、これまでお世話になってきたから今度は自分がお世話をする番だと思い、引き受けました。

<菜の花チアの歩み>

東葛菜の花は柏市・松戸市を主なエリアとして活動していますが、私は主に松戸エリアを担うようになっていました。その頃、松戸の旭神経内科リハビリテーション病院では高次脳機能障害の集団訓練プログラムを始めていました。しかし、プログラム（1クール6ヶ月）終了後の行き先がないというのが課題でした。そのような中、松戸市障害福祉課から私たちに声がかかりました。病院や市やボランティア団体のバックアップのもと、市の建物の一室をお借りして、週1回2時間、グループワークを始めることにしたのです。それが《菜の花チア》です。グループワークは、ミーティング（1分間スピーチ）から始まり、体操、休憩、プログラム（ゲーム、音楽、スポーツ、外出など）、振り返り、という流れになっています。モットーは「人のふり見て我がふり直せ」です。グループワークを通じて当事者同士が刺激をうけ、一緒に考えることが大切なのだと思います。また、当事者のみならず、家族の関わりも大切にしています。ここに来たら、ご家族は他の当事者に関わるようにしています。自分の家族以外の当事者に関わることで、ご家族の側にも大きな学びがあるからなのです。

<東葛菜の花のこれから>

私が家族会に入った5、6年前に比べれば、高次脳機能障害の認知度や理解は高まり、医療や福祉の受け皿は増えつつあります。しかし、まだまだ十分ではありません。発症した人がどうやって社会資源につながっていくか、そのための道を作り、システムを作っていくことが課題だと思っています。将来的には高次脳機能障害専門の作業所やグループホームを作りたいという目標もあります。

<自身の夢>

息子の安住の地を見つけることです。どの親も同じ考えですが、親亡き後も息子が安心して、そして生きがいを持って暮せるようになることが私の夢です。

【取材圏域：ほっとねっと（松戸圏域）】

連絡先

綿 貴 吉 治（世話人） TEL/FAX 04-7174-3998

内木千鶴子（世話人） TEL/FAX 047-369-0182

活動内容

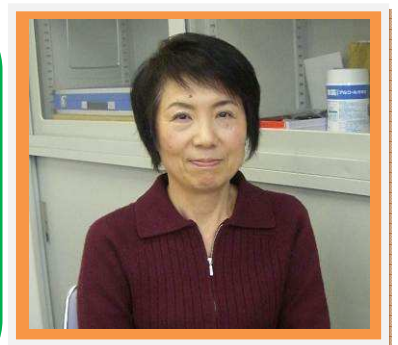
◆音楽療法、ピクニック、クリスマス会、勉強会、情報交換など
毎月第4日曜日 13:30～15:30

◆菜の花チア：グループワーク
毎週火曜日 13:30～15:30

◆松戸市高次脳機能障害当事者家族の集い：ミーティング、情報交換など
毎月第2水曜日 13:30～15:30

ホームページ 東葛菜の花⇒検索

<http://members3.jcom.home.ne.jp/toukatsu-nanohana/>





ちば・地域発 ～県内ア・ラ・カルト～

第4回世界自閉症啓発デーin ちばの開催

毎年4月2日は国連が定めた「世界自閉症啓発デー」です。4月2日から8日（18時～21時）まで、千葉ポートタワーのブルーライトアップを行います。是非、お越しください。

〔内容〕 ◆きゃらばん隊いちょう公演 『自閉症ってなあに！』（11時～12時）

寸劇や疑似体験を通して支援を必要とする子どもたちのことを楽しくお伝えします。

出演：千葉県立市原特別支援学校PTA、キャラバン隊

◆ミニコンサート（13時半～14時半） 自閉症の方たちが奏でる音楽を どうぞお楽しみ下さい。

◆震災調査報告会（15時～15時半）

あの3.11県内の自閉症の方・ご家族はどのように向き合ったのか？ 調査から見える課題は？

◆自閉症の方たちの陶芸・絵画等の作品展、自閉症支援グッズ紹介コーナー、DVD上映『自閉症の子どもたち』、相談コーナー「うちの子は自閉症？」、パネル展示を開催します。

〔日時〕 平成24年4月1日（日）11時～17時 〔会場〕 Qiball（きぼーる）1Fアトリウム

〔申込み〕 申込は不要です。直接お越しください。

〔問合せ〕 千葉県発達障害者支援センターCAS TEL：043-227-8557

NPOの“輪” “和” “話” の開催

〔内容〕 ◆NPO 関連公募型事業等説明会（10時～11時）

◆千葉県県民活動推進計画の概要（11時～11時半）

◆平成23年度連携・協働による地域課題解決モデル事業成果報告会（12時半～16時半）

(1) 講演「みんなが主役！連携による地域づくり」（60分）

講師：川北 秀人 氏（IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表）

全国各地で、NPOのマネジメントや新しい公共の場づくりの支援などに取り組まれている川北氏を講師に迎え、

全国の最新の事例を交えながら、これからの地域づくりのあり方についてお話しいただきます。

(2) 成果報告（180分）

県内各地で、NPOや自治会、企業、学校など様々な団体が連携して地域づくりに取り組んだモデル事業（13事業）の成果を報告します。

〔日時〕 平成24年4月14日（土）10時～16時半 〔参加費〕 無料

〔会場〕 千葉市ビジネス支援センター（きぼーる13階） 〔募集人数〕 先着100名

〔申込み〕 4月10日（火曜日）までに、〈1〉参加者全員の氏名 〈2〉参加希望行事〈3〉電話番号（代表者の日中連絡の取れる方の電話番号）を明記の上、FAX、はがき・Eメール（件名は「4月14日NPOのわわわ参加希望」）でお申込みください。なお、定員を超え、御参加いただけない場合のみ連絡させていただきます。

申し込み先 千葉県NPOパートナーシップオフィス

電話：043(223)4145 FAX：043(222)0190 E-mail：partner@chiba-npo.jp

柏市地域生活支援センター あいネット

所長 永桶 静佳

中核地域生活支援センターは2箇所のモデル事業から出発しました。あいネットは海匠ネットワークとともにモデル事業から始まっている、もっとも古い中核となります。また2008年には柏市が中核市になるに伴い、県からはずれ、市から委託を受け今に至ります。さらに、2012年の7月からは、国のモデル事業である3次募集となるパーソナルサポートサービス（PSS）事業を柏市からの委託として受けることになっているなど、図らずも、再びモデルがつく事業となることになっています。平たく言えばお金の出所が変わってきているのですが、その都度今までの「何でも・誰でも・いつでも相談」できる福祉総合相談という位置を市と確認・相談しての道のりです。もうひとつ変化しているのは、事務所の場所です。中核時代は独立・中立の観点から、独立した事務所ということで、市役所付近の場所を借りていましたが、市の保健福祉施設が完成し、その中で福祉総合相談窓口として仕事をするようになったことです。

あいネットにとって市の委託という選択は相談機能を残すためには必然でしたが、一方でひとつの着地点とも考えていました。適正なエリアの範囲は地域性によると考えますが、東葛3市という広域で、本当に相談がきちんと拾えているのかという気持ちがつきまわっていましたので、今は身の丈が少しあってきたかなという感じです。

PSSモデル事業からも相談支援の必要性は社会的な課題だと考えると、中核事業はますますの普及が望まれます。準会員ではありますが、ともに今後を見据えていきたいと思えます。

所在地：千葉県柏市柏下65-1

ウェルネス柏3F

電話：04-7165-8707

FAX: 04-7165-8709

Mail: ainet@kazenomura.jp



発行元：千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

事務局：香取ネットワーク（香取圏域）香取市北1-11-18 TEL:0478-50-2800 FAX:0478-50-2881

編集：海匠ネットワーク（海匠圏域）旭市イの1775 TEL:0479-60-2578 FAX:0479-60-2579

※内容についてのお問い合わせは、海匠ネットワーク（担当：丸山）までお願いします。